

総合情報学部 システム情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

システム情報学科は、「情報社会に対して貢献できる高度 ICT 人材の育成」という教育理念のもと、以下のような能力を身につけた人材を育成します。学生が身に付けるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
学ぶ意義の理解、目的意識、主体性のもと、新しい知識や技術を学ぶことができる人材
- ② IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
情報システムの設計・構築・運用、ネットワーク、セキュリティ、データベース、人工知能、機械学習、宇宙情報などの各分野において必要とされる ICT に関連する知識と技術を有し、活用することができる人材
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
異文化を理解し、国際感覚に優れ、グローバルな視点から物事を見ることができる人材
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
事実・データ・知見・意見を論理的かつ相手に理解させる形でまとめ、発表することができる能力を有し、様々な人々と協働するためのコミュニケーションを行うことができる人材
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
情報社会における多種多様な課題を発見し、システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を応用することで問題解決を行うことができる人材
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵
物事を幅広い視野からとらえ、論理的に思考し、豊かな自己表現ができる人材

2. 学位授与の方針

育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、所定の単位数を修得した学生に対して、学士（総合情報学）を授与します。